

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.9.30 時点)

分類		保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比※1 (2018.9.27)	変動※2 理由	エリア 占有率	保管量※3／保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01未満	3,000	m ³	微増	m ³	—	92 %	182400 / 250700 (73%) ・フランジタンク解体片 2018年9月末時点でコンテナ819基保管。 エリアP1 コンテナ数：622基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：197基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	62,700	m ³	+400	m ³	①	99 %	
		F 2	屋外集積	0.01未満	6,400	m ³	0	m ³	—	85 %	
		J	屋外集積	0.01	4,300	m ³	0	m ³	—	53 %	
		N	屋外集積	0.01未満	4,500	m ³	0	m ³	—	45 %	
		O	屋外集積	0.01未満	43,500	m ³	0	m ³	—	85 %	
		P 1	屋外集積	0.01未満	48,300	m ³	-600	m ³	①②	75 %	
		U	屋外集積	0.01未満	700	m ³	0	m ³	—	100 %	
		V	屋外集積	0.01	2,400	m ³	+400	m ³	①③④	41 %	
	AA	屋外集積	0.01未満	6,500	m ³	+2,100	m ³	①⑤	18 %		
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600	m ³	0	m ³	—	58 %	38200 / 71000 (54%) ・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)
		E 1	シート養生	0.02	14,000	m ³	0	m ³	—	88 %	
		P 2	シート養生	0.01	5,500	m ³	微増	m ³	—	62 %	
		W	シート養生	0.03	8,100	m ³	微増	m ³	—	28 %	
		X	シート養生	0.01	7,900	m ³	0	m ³	—	65 %	
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000	m ³	0	m ³	—	100 %	19100 / 31700 (60%) ・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m3）増加。 (2018年5月)
		A	仮設保管設備	0.14	1,000	m ³	0	m ³	—	14 %	
		E 2	容器※4	0.02	300	m ³	0	m ³	—	19 %	
		F 1	容器	0.01未満	600	m ³	0	m ³	—	99 %	
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器※4	0.01	10,500	m ³	+500	m ³	①⑦	23 %	10500 / 45600 (23%) ・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m3）増加。 (2018年2月)
合計（ガレキ）					249,900	m ³	+2,600	m ³	—	63 %	
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,200	m ³	0	m ³	—	63 %	96600 / 134000 (72%)
		H	屋外集積	0.01未満	31,700	m ³	0	m ³	—	74 %	
		M	屋外集積	0.01未満	39,600	m ³	0	m ³	—	88 %	
		V	屋外集積	0.01	100	m ³	0	m ³	—	2 %	
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	m ³	0	m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)
		T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	m ³	0	m ³	—	94 %	
合計（伐採木）					133,900	m ³	0	m ³	—	76 %	
保護衣	屋外集積	容器	0.04	56,300	m ³	-400	m ³	⑧	79 %	56300 / 71200 (79%) ・使用済保護衣等焼却量 4562t (2018年9月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1005本 (2018年9月末累積)	
合計（使用済保護衣等）					56,300	m ³	-400	m ³	—	79 %	

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②一時保管エリアAAへ瓦礫の移動 ③構内一般廃棄物保管 ④1-4号機建屋関連工事 ⑤一時保管エリアP1から瓦礫の移動
⑥瓦礫を固体庫に移動 ⑦一時保管エリアQからの移動 ⑧焼却運転

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

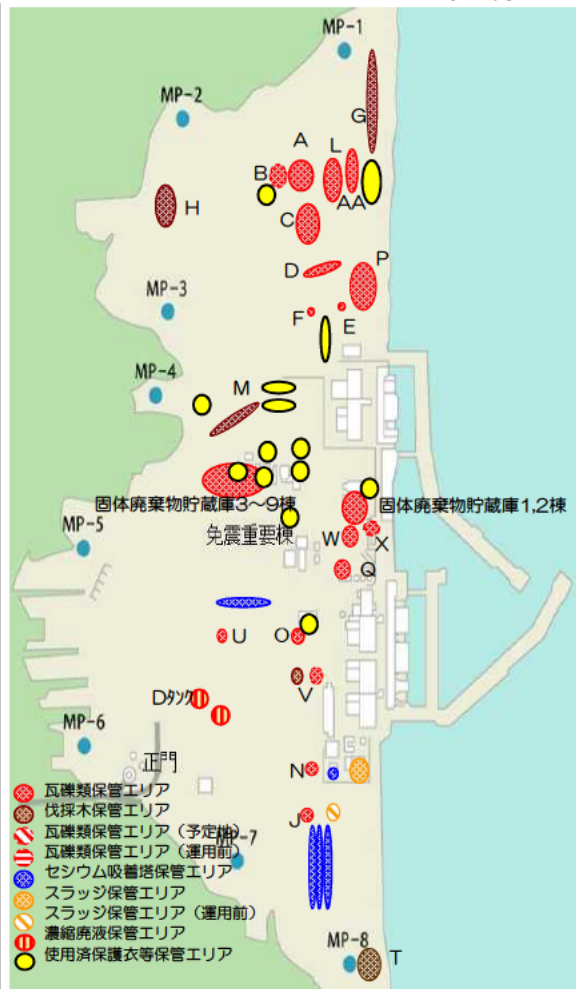
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.10.4時点)

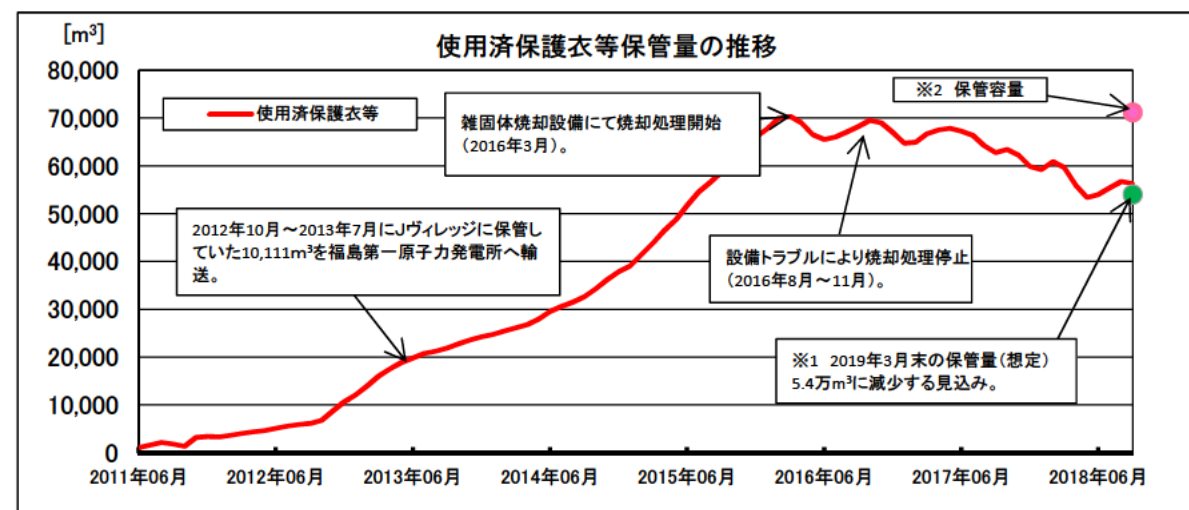
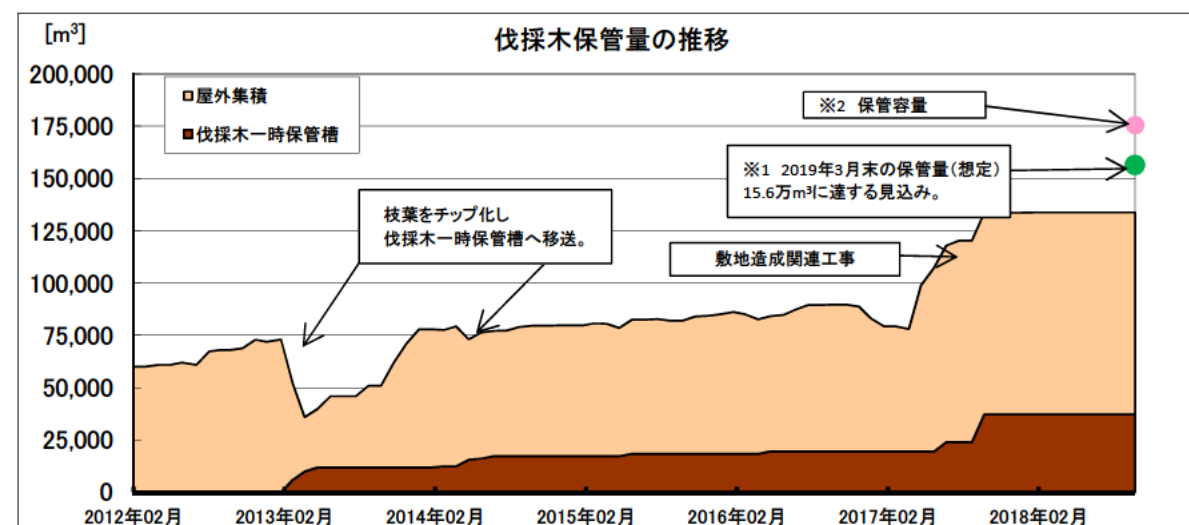
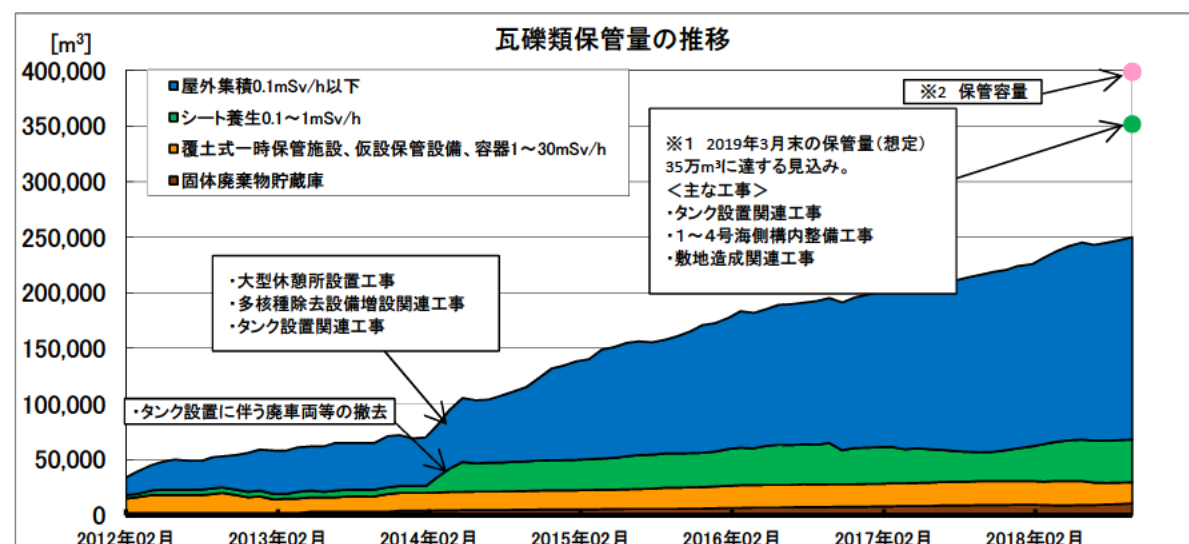
分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2018.9.27)	保管量／保管容量 (割合)	トピックス		
水 処 理 二 次 廃 棄 物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	771	本	+4	本	4137 / 6372 (65%) ・吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	206	本	0	本		
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,531 ^{※1}	基	+22 ^{※2}		基
			増設	1,342 ^{※3}	基	+20 ^{※4}		基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74	本	0		本
		多核種除去設備処理カラム	既設	11	塔	0		塔
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		202	本	+1		本
	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597	m ³	0	m ³	597 / 700 (85%) ・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,387	m ³	-23	m ³	9387 / 10700 (88%) ・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・水位計0%以上の保管量：9287 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。 【正】1,531基 【誤】1,514基 ※2：データ集計の間違い修正により、増減基数を訂正。 【正】+22基 【誤】+13基（2020.3.4）

※3：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。 【正】1,342基 【誤】1,359基 ※4：データ集計の間違い修正により、増減基数を訂正。 【正】+20基 【誤】+29基（2020.3.4）



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2018.9.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.10.4時点)

